

啓伸塾便り

12月号
(師走)
December

基礎学力を重視する学習塾
啓伸塾
ただ今、冬の新入塾生募集中

国語の力はすべての教科の基礎と言われます。問題を解く際、まず問題文を読みます。そして、その問題がどのような答えを求めているのかを読み取らなくてはなりません。その読み取る力が、国語力であり、言い換えると読解力です。

この力は、学校で学ぶ国語を始めとした数学や理科・社会・英語にも必要です。社会人になってからも、説明書・契約書を読み解く力にもなります。それらを読み解く力を鍛えるため、高校では新たに「現代の国語」「論理国語」という教科を取り入れました。

このように、国語力は将来社会で生きていく上で、一番必要な学力になります。保護者の方ならそのことは十分に理解いただけているかと思っています。

では、その国語力を鍛えるにはどうしたらよいのか。

今まで、読書が一番言われてきました。確かにその通りです。ではなぜ読書が一番なのでしょう。人は会話によって、いろいろなことを頭に取入れたり、人に伝えたりします。人の言ったことが理解できなければ、また自分の思っていることが、ちゃんと人に伝えられなければ、会話は成り立ちません。これは、人が生まれた時から行ってきたことです。そして、その上に次の段階として、読み書きと言われる国語の力が必要になります。

読書が習慣になっている子はいいのですが、そうでない子は、学校の授業だけでは国語力は身に付きません。さらに、国語の読み取り問題に取り組んでも国語力は身に付きません。

国語の読み取り問題は、長文の一部分を切り抜いた文章に設問を付けた「長文切り抜き問題」をこなしているだけで、国語力の無い子がこの問題をやっても国語力は身に付きません。国語の問題は正しく文章を理解しないことには、本来、解けないものです。

算数なら解き方を基礎から学んで問題に取り組めます。サッカーでいえば、パスやドリブルの練習もせず、ひたすら試合をしているのと同じです。試合の形式に慣れても上達はしません。

まず、読書を通じて、読む訓練をすることが、国語力を伸ばすためには重要なことです。とはいえ、国語力の足りない子の多くは読書をしませんでした。

読書以外に読む訓練の方法はないのでしょうか。あります。それはスバリ音読です。

「うちの子は国語力が足りない」と思う親さんは、学年問わず、まず音読をさせてください。音読がしっかりと出来るようになってくると、文章がスラスラと読めるようになります。

中3生のみなさんへ

定期テストも終わり、学校の実力テストの結果も出て、岐阜新聞テスト第3回めの結果も、もう送られてきたと思います。そして学校の三者懇談で、いよいよ進路をきめる時期となりました。

中3生のみなさんは、3年後のことまで考えて、保護者の方と志望校について考えてもらいたいと思います。

よくこの時期になると早く進路を決めて楽になりたいので、今の成績でいけるところといった安易な気持ちで決める子いますが、それだけはやめましょう。後になって後悔することになります。

志望校のことは子供たちと個別にお話をしていますが、必要な保護者の方は、いつでも気軽にご相談ください。

一生の財産になる学習習慣を身に付けるのはこの高校受験の時期がラストチャンスです。受験生をお持ちの保護者の方は、ご家族一丸となって、お子様の受験を乗り越えましょう。

また、最近新型コロナウイルスの感染者数が増えています。また、インフルエンザも流行すると言われています。特に、中3生のみなさんは、受験を控えています。

症状が軽いと言っても、試験当日感染していたら、受験出来なくなります。十分気を付けて下さい。

今月の予定

冬期休講は下記のようにさせていただきます。

12月29日(木)～1月4日(水)

☆ 年始は1月5日(木)より通常の授業を行います。ただし、**中3生は冬期講習**を行いますので上記の冬休みは適用されません。冬期講習の日程については、連絡済みです。

☆ 中3生の冬期講習は、12月17日(土)から始まります。

☆ 1月9日(月) 成人の日 **塾あります**

冬休み期間中の塾の自習室について

中3生はもちろん、中1、2年生のみなさんも前期の復習、宿題等にご利用ください。もちろん、質問等も受け付けます。日時12月29日(木)・30日(金) 9時30分～12時

次第に「読むこと」が苦痛でなくなるため、読書に対して抵抗がなくなり、すすんで本を読むようになります。

筋と同じで、基礎の部分を鍛えるトレーニングは、一見受験勉強とはつながっているように見えません。しかし、半年も続ければ結果がついてきます。地道な訓練を通してこそ、本が読めるようになります。国語力が向上することを、しっかりと知ってほしいと思います。

音読が力になる4つの理由

1 正しく字面を音読し訓練が大切です
「国語力」には文章を読み取り、正しく理解することが必要。そのためには、まず字面をきちんと通うことから。音読なら読み飛ばすことなく、文字を音読し訓練が大切です。

2 子どもが正しく読んでいるか確認できる
黙読では正しく読めているか確認できない。声に出すことで、①意味のかたまり(文節)ごとにわかっているか、②わからない言葉はないか、を親が確認できる。

3 音読して聞いた方が文章の内容を確認しやすい
耳で聞くことは口から慣れている。言葉や音声を聞きながら文章を読み取り、音読は声に出して読むため、耳から言葉が入り、文章の内容が理解しやすい。

4 連続して音読するだけで、文章の構成や文章の流れをつかむことができる
一度100回繰り返して音読する(10分)。1文。「ま」の構成、文章の流れ、展開が体に染みこむ。その結果、ポイントがすぐれた見当違いの読み方をしなくなる。

最初は教科書の1ページ程度(1段落)をスラスラ読めるようになるまで、1回100回連続を毎日。
次の段階として、教科書の1単元(5ページ程度の量)を10回連続を週三から五回。

これらのことを続けて下さい。毎日行い、習慣にすることが大切です。是非とも保護者の方が、主導して行ってください。

音読の訓練をすれば、自然と国語力は上がります。最終的に、長文の内容を把握でき、自分の考えを述べられるようになります。